

ごあいさつ



東伯けんこうは、障がいのある皆さんが、地域の中で自分らしく元気に暮らしていけるノーマライゼーション社会の実現をめざして、農福連携をはじめ、色々な分野で活動しているNPO法人。就労継続支援B型事業所と障がい者グループホームを中心に就労支援や生産活動を展開しています。施設の中だけで活動するのではなく、障がいのある皆さんと共に地域社会に貢献し、すべての人の笑顔を創るNPO法人でありたいと願っています。

特定非営利活動法人(NPO法人) 東伯けんこう 理事長 横山明子

東伯けんこうの施設案内

施設 東伯けんこう (就労継続支援B型)
住所 鳥取県東伯郡琴浦町徳万352-4
電話 0858-53-1439 (FAX兼用)
事業概要 知的・身体・精神障がいの者の通所作業所で、農水福連携に力を入れています。大豆の選別やパソコン作業、電子部品の組立などの軽作業に加え、公民館や海岸の清掃も受託しています。施設の壁面には「ノーマライゼーションの夢」をテーマに募集した絵画コンクールの優秀作を大きく掲示しています。



施設 東伯けんこうホーム (共同生活援助)
住所 鳥取県東伯郡琴浦町下伊勢417-1
電話 0858-53-1068 (FAX兼用)
事業概要 夜間を中心に共同で生活を営む住居です。居室は3タイプで入所定員は4人。世話人が相談、食事、通院の送迎など日常生活を支援します。共同で暮らすことで孤立の防止、生活不安の軽減が図られ、精神の状態が安定します。夜間世話人も配置しています。



施設 東伯けんこう直売所
住所 鳥取県東伯郡琴浦町八橋 171-11
電話番号 0858-52-3977 (FAX兼用)
営業時間 8:00~18:00 (土日祝 8:00~17:00)
ブログ <http://blog.zige.jp/touhakukenkou>

事業概要 東伯けんこうの利用者の皆さんが栽培した無農薬野菜、近隣の農家が生産した野菜や果実に加え、お好み焼きやパンなどを、販売しています。販売活動を体験していただくことも大きな目的です。販売は貨幣を使う経済活動の基本だからです。地域との連携を深めようと各公民館祭や社協の福祉祭など地域のイベントにも積極的に参加し、移動販売を続けています。



農水福連携の取り組み

琴浦町内の農家の皆さんの受託を受け、苗作り、畑への移植、除草、土寄せ、収穫、出荷と、白ネギ生産を中心に、梨の袋かけ、トマトの収穫、ラッキョウの根切りなどの作業に取り組んでいます。荷物もしっかり積める5人乗りのトラック「アトラス」を導入。利用者の労働負担を軽減しています。

農作業は青空の下で体を動かし、健康増進に役立つだけでなく「農作物を育てる」という喜びを得ることができます。日本海に面した地の利を活かし、漁協の協力でアゴなどの加工処理にも取り組んでいます。



地域交流の取り組み

施設の直売所で地域の皆さんに接客を通してふれ合うことが、障がいのある方が普通に暮らしていけるノーマライゼーションの第一歩と考えています。施設の中に留まるのではなく、役場や福祉施設、学校、各イベント会場での出張販売に取り組んでいるのも地域との交流を深めたいとの思いから。公民館や海岸の清掃作業も、町民の皆さんに喜んでいただくことで、地域の中で必要とされていると感じてほしいからです。東伯けんこうは本当のノーマライゼーションを実現していきます。

車内で調理できるだけでなく、利用者の皆さんが栽培した野菜などのトレイを積んだカートを搭載し、カートをリフトで乗降させる世界に1台しかないオンリーワンの移動販売車「けんちゃん号」を開発・導入しました。



健康をつくる取り組み

定期健康診断や毎日の健康観察に加え、地域の医院や歯科と提携。隣接する東伯健康ジムも利用でき、健康増進に力を入れています。地元消防署の協力で年2回の避難訓練を実施。消火活動や救命救急法を体験しています。安全な通所が難しい人には送迎をしています。



食を通じた取り組み

施設には調理設備があり、利用者に食事を提供するだけでなく、地域に広島風お好み焼きや焼きそば、そば飯などの軽食やお弁当などを販売しています。

けんちゃん号は、ロングボディの日産キャラバンの床面や壁面を衛生的に改造。ガス台やシンクなどの調理設備や冷蔵庫を搭載。施設の食堂と同様に利用者や地元の生産者が栽培した野菜を職員と利用者が一緒に調理。料理を各イベントなどで販売しており、地域の皆さんに好評です。

楽しみをつくる取り組み

東伯けんこうでは、利用者の皆さんと職員が仲の良い家族のように過ごしており、信頼関係を大切にしています。レクリエーションは利用者の皆さんの興味や関心に添って企画し出かけて、楽しんできました。